



(2019. 9. 20)発行

### 見守る子育て

学校法人 帯広葵学園

所長 外館 昭良

子育てについて、色々調べている中で、『**親**』という漢字は、『木の上に立って見る。』と書く。』という一節がありました。なるほど、漢字って凄くなって思いました。文字の形の中に、その文字が示す意味がちゃんと含まれて形成されているんですね。

では、ただ見ていれば子どもは健やかに逞しく育つのでしょうか？

『見る』、『見張る』、『見守る』、似ていますが、意味は違いますね。

それぞれを辞書で調べてみると、

- ・『見る』は、「視覚によって、物の形、色、様子を知覚する事。」
- ・『見張る』は、「注意してみる。警戒する。番をする事。」
- ・『見守る』は、「間違いや事故がないようにと、気を付けて見る事。」とありました。



子育てでは、やはり『見守る』事が大切ですね(^-^ ) 子どもがする事を信頼し過剰に手や口を出さないでやらせてあげることは、子どもの自主性や意欲につながりますね。また、見守っていることで子どもが困っている時に、すぐ手助けができ問題を解決することができますね。そして、子どもが何かを達成した時、すぐに喜びを共感することもできますね！

逆に『見張る』は『監視する』事になり、見張る側の思いと子どもが違う行動をするとすぐに注意され、子どもにとっては窮屈で何かを始めようとしても、見張る者の目を気にしてしまい尻込みすることになるかもしれません。また、人の目ばかりが気になり委縮して自分で決断ができず前へ進めなくなってしまうかもしれません。

どちらにしても、危険な事や命にかかわるようなことがあれば、注意しなければいけませんね。

『子育て4訓』というのがあります。子どもの成長期それぞれの年齢に合わせた、親の姿勢を分かりやすく書き記したものです。本当に分かりやすいですね。

#### — 子育て4訓 —

- 一、乳児はしっかり肌を離すな。
- 一、幼児は肌を離せ、手を離すな。
- 一、少年は手を離せ、目を離すな。
- 一、青年は目を離せ、心を離すな。



「せんせい見て！まわったよ！！」

### 「靴のサイズについて」



心身ともに成長著しいこの時期、靴を選ぶのにもひと苦労されますね。小さい靴を履いていると外反母趾になる恐れがあったり、大きなサイズを履いていると靴の中で足がおよいでしまい転んでしまったり、足をくじいてしまうこともあります。幼児の場合、3~4カ月を目安に靴のサイズを確認することが良いと言われています。靴選びのポイントは、つま先に 7~10mm程度のゆとりがあり親指が動くサイズが適当とされています。今一度、お子様の靴のサイズをお確かめになってみてはいかがでしょうか。



### 『ひかる だんご展について』

展示期間 : 10月6日(日) \*6日は16時以降 ~ 10月12日(土)  
展示会場 : 帯広市図書館

帯広葵学園では、子ども達が作った『ひかる だんご』の展示会を開催してきました。ここへき地保育所の年長組さんも、9月2日にだんごを作成しました。緑陽台保育園のバスのおじさん(鈴木さん)が作ってくれた『だんごの種』に漆喰を塗り、牛乳瓶の口でゴシゴシ擦って磨き上げます。子ども達は徐々につるつるピカピカになっていくだんごを見て「ひかってきた!」「ピカピカだ!」と感動しながら作っていましたよ。



ぜひ、お時間がありましたら展示会へお越し下さい。よろしくお願い致します。

<退職のお知らせ> 急なことですが、西中音更保育所にパートとしてお勤め頂いていた『中島ゆかり先生』が、体調不良のため残念ながら退職されました。早く回復してお元気になっていただけることを願っています。そしてまた、復職して頂けると嬉しいです。



### <9月 あんなこと、こんなこと>

東土狩

ひ  
★  
か  
★  
れ



南中音更

ど  
★  
ろ



西中音更

だ  
★  
ん  
★  
ご

